

炭焼き体験会

炭を身近に 熱さを体験

2月6日、白鷹町ふるさと森林公園の炭焼き窯で炭焼き体験会が行われました。

これは、山形県木炭文化協議会と町の主催で毎年開催されているもので、今年で17回目。この日は町内外から約30人が参加し、白炭窯からの炭出しや、ドラム缶窯を使った飾り炭作りなど体験しました。今ではなかなか触れることのない貴重な体験に、参加者の皆さんは興味津々。子どもたちも窯から出したばかりの炭に手を近づけ、「あったかい！」と炭の熱さを体感しました。



地域を越えるつながり

第9回 十王雪まつり

恒例となった「十王雪まつり」が2月7日、山峡の里交流広場で開催され、十王地区内外から400人以上の方が来場しました。

メインイベントである「雑煮鍋合戦」では、十王区内3チームをはじめ、荒砥地区、滝野地区、荒砥高校、東北公益文科大学から合わせて9チームが参加。鍋の紹介を兼ねて行われた、ユーモアあふれるパフォーマンスが会場をさらに盛り上げました。白鷹産の食材を使い、工夫がこらされた雑煮鍋はあっという間に完売し、結果、十王1・4・10町内の「クックパッドでもつ鍋」が見事優勝。フィナーレには、100発の花火が白鷹の冬の空に打ちあがりました。



本を大好きになってほしい

ひがしね保育園で読み聞かせ

2月9日、ひがしね保育園では保護者のボランティアによる「絵本の読み聞かせ」が行われました。

この日は園児のお母さん3人が1クラスずつを担当。園児たちは読み聞かせが始まると食い入るように絵本を見つめ、最後に「おもしろかった!」「ありがとうございました!」と声を合わせました。また、ボランティアとして参加している保護者の皆さんは、読み聞かせについて「最初は緊張したけど、今では楽しみの一つになった」と話し、「本を大好きになってほしい」「想像力豊かに育ててほしい」という思いを言葉にしました。



ひがしね保育園では、4年前から本の読み聞かせを行っており、毎年保護者の皆さんがプリントや声掛けなどで参加者を募っています。